

表1 令和2年度 センサーカメラ設置箇所

調査地点	行政区・地点名	前年度からの設置状況 ¹⁾	国有林名	林小班名	緯度	経度	標高(m)	遺産地域からの距離	設置箇所の林齢・周囲の環境・設置状況等	設置日	撤去日	稼働日数	設置状況		
													方向	高さ(m)	奥行(m)
1	八峰町 小入川林道①	継続	八森山	159 へ1	40° 24′ 32.84″	139° 58′ 56.96″	47	緩衝から6.5km	56年生の広葉樹林で、小入川と右岸支流との合流点付近に位置する。小入川沿いの林道に向けて設置。	4月7日	11月18日	226	S	1.2	4.5
2	八峰町 小入川林道②	継続	八森山	159 い	40° 24′ 10.51″	139° 58′ 44.46″	23	緩衝から7.0km	108年生の広葉樹林で、建造物跡地の民有地に隣接する。舗装路に続く作業道脇に設置。	4月7日	11月18日	226	W	1.2	2.5
3	八峰町 小入川わな上	継続	八森山	159 は2	40° 24′ 13.79″	139° 58′ 53.94″	62	緩衝から7.0km	72年生のスギ林で、林内にはニホンジカ捕獲用のわなに至る作業道が作設されている。2本の作業道の合流地点付近に向けて設置。	4月7日	11月18日	226	NNE	1.1	2.5
4	八峰町 小入川わな下	継続	八森山	159 は	40° 24′ 10.48″	139° 58′ 55.04″	59	緩衝から7.0km	5年生と72年生のスギ複層林だが、小面積皆伐の様相を呈する。72年生スギ林内の谷底に設置。	4月7日	11月18日	226	N	1.1	2.0
5	八峰町 日蔭沢林道①	移設	平沢	160 た	40° 24′ 03.54″	139° 59′ 28.04″	152	緩衝から7.0km	81年生の広葉樹林で、蔓に被覆された荒廃地や草地に隣接する。岩の崖地に作設された林道の狭窄部に向けて設置。	5月14日	11月18日	189	N	1.2	2.5
6	八峰町 日蔭沢林道②	継続	平沢	161 い1	40° 23′ 59.11″	139° 59′ 25.54″	99	緩衝から7.0km	平沢沿いに植えられた62年生のスギ林で、沢沿いに作設された林道に向けて設置。	4月7日	11月18日	226	NW	1.2	3.5
7	八峰町 ワザ沢	継続	平沢	161 る4	40° 23′ 54.99″	139° 59′ 25.58″	118	緩衝から7.0km	45年生の広葉樹林で、沢沿いに草本類の下層植生が発達する。日蔭沢林道から沢沿い付けられた歩道脇に設置。	4月7日	11月18日	226	E	1.1	2.0
8	八峰町 上山内沢①	継続	八森山	163 い1	40° 24′ 00.72″	140° 01′ 07.64″	88	緩衝から6.0km	55年生の広葉樹林で、上山内沢の対岸や下流域にはスギ林が広がる。沢の左岸に付けられた歩道脇に設置。	4月7日	11月18日	226	SE	1.1	2.0
9	八峰町 上山内沢②	継続	八森山	163 い1	40° 23′ 59.65″	140° 01′ 11.08″	82	緩衝から6.0km	地点8に続く歩道沿いで、作業道終点の広場から歩道に数m入った場所に設置。	4月7日	11月18日	226	NNW	1.1	2.0
10	八峰町 中の又林道	移設	真瀬沢	173 い	40° 25′ 09.93″	140° 02′ 48.47″	121	緩衝から4km	89年生のスギ林で、三ノ又林道分岐点の広場より約50m奥の地点の林道脇に設置。	4月16日	11月18日	217	SSE	1.2	2.5
11	能代市 小滝林道	移設	岳	1002 お	40° 19′ 13.34″	140° 11′ 19.49″	200	緩衝から5km	67年生のスギ林で、林道を挟んだ谷側には121年生の広葉樹林が広がる。作業道入口付近から林道に向けて設置。	5月26日	11月12日	171	SSW	1.1	4.0
12	藤里町 小岳林道	継続	鹿瀬内沢	1020 う	40° 24′ 54.24″	140° 12′ 18.84″	552	緩衝から1.5km	64年生のスギ林だが、周辺の小班の大部分は200年生近いブナ林である。林道から開設された作業道沿いに設置。	5月26日	11月12日	171	ENE	1.1	2.0
13	藤里町 大滝林道①	継続	鹿瀬内沢	1020 そ	40° 24′ 37.47″	140° 12′ 01.10″	511	緩衝から1.0km	64年生のスギ林で、周辺には200年生近いブナ林が生育する。林道から谷側を下る作業道入口付近に設置。	5月26日	11月12日	166 ²⁾	NNW	1.2	2.5
14	藤里町 大滝林道②	継続	鹿瀬内沢	1020 た	40° 24′ 46.61″	140° 12′ 02.08″	501	緩衝から1.0km	198年生のブナ林で、地点13より約300m手前に位置する。林道狭窄部の落石箇所に設置。	5月26日	11月12日	171	W	1.2	2.5
15	藤里町 一の又沢林道	継続	鹿瀬内沢	1023 い	40° 23′ 51.24″	140° 13′ 29.66″	301	緩衝から1.5km	64年生のスギ・カラマツ林で、大滝林道との分岐点付近に位置する。林道入口の門扉跡の鉄柱に設置。	5月26日	11月12日	171	SE	1.1	2.5
16	藤里町 逆又沢	継続	鹿瀬内沢	1023 た1	40° 23′ 10.27″	140° 14′ 11.78″	491	緩衝から2.0km	52年生のスギ林で、樺岱林道入口付近に位置する。粕毛林道から開設された作業道入口付近に設置。	4月24日	11月12日	203	SSW	1.4	2.5
17	藤里町 雨池	継続	鹿瀬内沢	1026 り	40° 22′ 32.69″	140° 14′ 42.83″	261	緩衝から3.0km	50年生のスギ林で、粕毛林道を挟んだ向いに池がある。林道から開設された作業道沿いに設置。	4月24日	11月12日	203	NE	1.2	2.0
18	藤里町 内川作業道①	継続	鹿瀬内沢	1033 い	40° 22′ 24.37″	140° 14′ 55.11″	215	緩衝から3.5km	61年生のスギ林で、林内に小沢があり下層植生が発達する。粕毛林道脇の作業道入口付近に設置。	4月24日	11月12日	203	N	1.1	2.0
19	藤里町 内川作業道②	継続	鹿瀬内沢	1033 わ13	40° 22′ 01.15″	140° 14′ 57.47″	222	緩衝から4.0km	96年生の広葉樹林で、周辺には33～34年生のスギ林が広がる。林道から内川を下る作業道入口付近に設置。	4月24日	11月12日	203	NNW	1.2	2.5
20	藤里町 清五郎沢	継続	鹿瀬内沢	1034 そ	40° 21′ 30.15″	140° 15′ 13.70″	200	緩衝から4.5km	52年生のスギ林で、民有地のスギ幼齢林に隣接する。林道から開設された作業道入口付近に設置。	4月24日	11月12日	203	NNE	1.0	2.5
21	藤里町 間伐指標林	継続	鹿瀬内沢	1036 た	40° 20′ 44.86″	140° 15′ 03.78″	173	緩衝から5.0km	69年生の間伐の行き届いたスギ林で、間伐に使われた作業道沿いに設置。	4月24日	11月12日	203	NNE	1.0	2.5
22	藤里町 素波里園地	継続	鹿瀬内沢	1036 わ	40° 20′ 28.24″	140° 15′ 02.01″	175	緩衝から5.5km	68年生のスギ林で、素波里園地の駐車場に隣接する。駐車場下から小沢沿いに開設された作業道脇に設置。	4月24日	11月12日	203	NNE	1.1	2.0
23	藤里町 田苗代湿原	継続	藤琴沢	1136 イ	40° 25′ 17.44″	140° 14′ 56.13″	782	緩衝から4.5km	田苗代湿原の第二湿原から第三湿原に至る途中の林内に、木道に向けて設置。	5月29日	10月28日	153	NNW	0.9	2.0
24	藤里町 東又林道	継続	藤琴沢	1135 た	40° 25′ 20.75″	140° 16′ 20.88″	557	緩衝から6.0km	158年生のブナ林で、岳岱自然観察教育林に隣接する。岳岱に至る舗装路から付けられた東又林道起点付近に設置。	5月29日	10月28日	132 ³⁾	NNE	0.9	2.5
25	藤里町 松の沢林道	継続	藤琴沢	1134 わ	40° 24′ 53.99″	140° 16′ 17.00″	528	緩衝から6.0km	46年生のスギ林で、林道沿いの小班は同程度の林齢のスギ林が多い。林道脇のスギ立木に設置。	5月29日	10月28日	132 ³⁾	W	1.0	3.0
26	藤里町 真名沢林道	継続	藤琴沢	1140 か	40° 24′ 38.80″	140° 16′ 47.97″	400	緩衝から6.5km	62年生のスギ林で、小班沿いに舗装された車道が伸びる。林道脇の作業道入口付近に設置。	5月29日	10月28日	153	NNW	1.1	3.0
27	藤里町 カタリ山林道	継続	藤琴沢	1140 と	40° 24′ 23.52″	140° 17′ 45.87″	313	緩衝から7.5km	158年生のブナ林で、くろみ台森林スポーツ林の小班と隣接する。林道がカタリ沢に向かってカーブする辺りに設置。	5月29日	10月28日	153	N	1.2	2.0
28	藤里町 ニゴリ沢	継続	藤琴沢	1147 な	40° 24′ 33.39″	140° 18′ 56.06″	308	緩衝から9.0km	68年生のスギ林で、小班沿いに藤琴川支流のニゴリ沢が流れる。沢沿いに付けられた作業道脇に設置。	5月29日	10月28日	153	N	1.2	2.5
29	藤里町 桧原沢林道	継続	藤琴沢	1141 ほ	40° 24′ 30.51″	140° 18′ 38.67″	299	緩衝から8.5km	51年生のスギ林で、調査地点28と藤琴川をはさんだ対岸に位置する。藤琴川にかかる橋を渡った先の林道脇に設置。	5月29日	10月28日	153	NE	1.1	2.0
30	藤里町 一通沢林道	継続	藤琴沢	1132 ほ	40° 23′ 45.71″	140° 17′ 36.58″	295	緩衝から7.0km	68年生のスギ林で、周辺には太良峡から続く天然秋田杉林が広がる。沢沿いに作設された林道脇に設置。	5月29日	10月28日	153	NNW	0.9	2.5

1) 前年度と同地点に設置した箇所を「継続」、移動した箇所を「移設」と表記。ただし地点5は平成30年度設置箇所(地点6)と同地点、地点10・11は平成30年度設置箇所(それぞれ地点11・15)の直近。

2) :7月9日～13日の5日間、3):5月29日～6月18日の21日間、それぞれ機器の不具合により稼働しなかったため、設置日・撤去日と稼働日数に差が生じている。

表2 センサーカメラによる各調査地点の確認種・個体数¹⁾

種名 ²⁾ \ 調査地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計	
ニホンサル <i>Macaca fuscata</i>	6	1	4		12	8	4	1	3		11	1	19	23	2			2	9		7	6		1	3	8	1		1		133	
キツネ <i>Vulpes vulpes</i>	77		15		3	30		5		17	13		5	1					5		3	1	10	6		5	1		1		198	
タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>	46	8	31	5	24	132	201	138	9	23	81		3	11	5	2		4	19	2	2	5	1	13	1	7	2		2	3	780	
イヌ <i>Canis familiaris</i>																							2	3						2	7	
ツキノワグマ <i>Ursus thibetanus</i>	21	2	5	2	19	17	4	7	12	6	6	16	29	23	2	8	3	4	6	5	5	6	13	4	8	7	5	1	12	4	262	
テン <i>Martes melampus</i>	34		5	3		8	2	3	1		3	1					1		4		1	1	11	6	1	5	3		1	4	98	
イタチ <i>Mustela itatsi</i>			2					11	5													1									19	
アナグマ <i>Meles meles</i>	19		7			12	20	8	3	2	6	2		1	11				9	3	1			4	2	1	6	1	3	5	126	
ハクビシン <i>Paguma larvata</i>	76	8	15	4		27	22	33	1	2	15								14	1	2			6					1		9	236
イネコ <i>Felis catus</i>	37		7			41																									85	
イノシシ <i>Sus scrofa</i>					1								1																		2	
ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	1		3		1				1				1		1													1		1	10	
カモシカ <i>Capricornis crispus</i>	44	1	30	6	44	11	14	11	8	2	29	10	4	1	6	4	22	2	9	19		7		2	5	3	2	2	2	1	301	
ニホンリス <i>Sciurus lis</i>			3	72															8												83	
ニホンノウサギ <i>Lepus brachyurus</i>	16	1	4			14				4	34	8	9	1	1	9	2		6		2	3		8		8	1	6	1	9	147	
不明コウモリ類								1																							1	
不明ネズミ類		2		7			4	8												3		1					1	8			34	
不明哺乳類	11		7	6	4	5	11	16	3		1	10	4	2	2	2		1	3	5		2	3	1			2	3	1	4	109	
哺乳類 個体数合計	388	23	138	105	108	305	293	236	41	56	199	48	75	63	30	25	28	13	95	35	24	32	40	54	20	44	25	22	24	42	2631	
哺乳類 補正個体数 ³⁾ 合計	17.24	1.02	6.13	4.67	5.74	13.56	13.02	10.49	1.82	2.59	11.71	2.82	4.55	3.71	1.76	1.24	1.39	0.64	4.70	1.73	1.19	1.58	2.63	4.12	1.53	2.89	1.64	1.45	1.58	2.76	4.67	
哺乳類 種数合計 ⁴⁾	11	6	13	6	7	10	8	9	8	7	9	6	8	7	7	4	4	4	10	5	8	8	5	10	6	8	9	5	8	9	15	
ヤマドリ <i>Syrnaticus soemmerringii</i>		8	1	4			4	6	2		7	1	2			11			47	9	7	29		3	7	38	13	8	8	12	227	
キジ <i>Phasianus colchicus</i>			3																												3	
キジバト <i>Streptopelia orientalis</i>		2	12	1		4		2			3			1					5			2		11	1	8		1			53	
シジュウカラ <i>Parus minor</i>		1		1				1																							3	
シロハラ <i>Turdus pallidus</i>		7	4	6			1													1											19	
コマドリ <i>Luscinia akahige</i>				2																											2	
オオアカゲラ <i>Dendrocopos leucotos</i>				1																											1	
アオゲラ <i>Picus awokera</i>				2																											2	
カケス <i>Garrulus glandarius</i>		2	1	8	1		1	1											10	1		1				1					27	
トラツグミ <i>Zoothera dauma</i>				13																										2	15	
クロツグミ <i>Turdus cardis</i>		2	4	5																											11	
不明鳥類	1	4	3	20			2			1					1				1		1									1	35	
鳥類 個体数合計	1	26	28	63	1	4	8	10	2	1	10	1	2	1	1	11	0	0	64	10	8	32	0	14	8	47	13	9	8	15	398	
鳥類 種数合計 ⁴⁾	0	6	6	10	1	1	3	4	1	0	2	1	1	1	0	1	0	0	4	2	1	3	0	2	2	3	1	2	1	2	11	
全個体数合計	389	49	166	168	109	309	301	246	43	57	209	49	77	64	31	36	28	13	159	45	32	64	40	68	28	91	38	31	32	57	3029	
全種数合計 ⁴⁾	11	12	19	16	8	11	11	13	9	7	11	7	9	8	7	5	4	4	14	7	9	11	5	12	8	11	10	7	9	11	26	

1) 連写の場合は、一連の撮影で写った最大個体数

2) 哺乳類と鳥類の種名・配列は、日本の哺乳類[改訂2版](2008)及び日本鳥類目録 改訂第7版(2012)に従った

3) 延べ撮影頭数/CN×10, 詳細は本文参照

4) 不明種は種数に含めていない